



BOOK NEWS

大洲高校図書館
No.9 2025年2月



令和6年度 読書奨励賞 受賞者インタビュー



3年5組の松本菜奈さんが今年度の読書奨励賞を受賞されました。松本さんは図書館の蔵書の中からこの1年で20冊(12月末時点)の本を読み、校内多読者第1位となりました。3年間通して80冊の貸し出し冊数となっています。今回受賞された松本さんにインタビューをしました。

Q 普段どんな時に読書していますか？

何もすることがない暇なときや、本がふと目に入ったときに読んでいます。

Q 読書の魅力について教えてください。

自分が物語の世界に入っているように感じることができます。また、読書によって知見が広がると思います。

Q この一年間で最も印象に残っている本を教えてください。

『名医ジャスティン』(生長豊健著) 医療福祉施設を作った医師による、動物介在療法を通して患者の具合がよくなっていく様子を描いたドキュメント作品です。

Q 今まで読んだ本で最も自分に影響を与えた本は何ですか？

「イソップ童話」シリーズ。自分が本を好きになるきっかけになった童話です。ファンタジーな世界観の裏に社会の風刺をしています。

Q よい本と出会えるにはどうすればいいでしょうか？

毎月書店に出向くと、気になる本が必ず見つかります。

Q 読書を習慣付けるにはどうしたらいいでしょうか？何かアドバイスをお願いします。

自分の興味がある分野の本を1日1ページずつ読むとよいと思います。



図書委員お薦めの本

デミアン

岩波文庫

ヘルマン・ヘッセ

訳：実吉捷郎

主人公のエーミール・シンクレールが青年に成長するまでの過程を描いた物語です。家庭内での「明るい世界」と、学校などで出会う「暗い世界」の相反する二つの世界に触れたシンクレールが葛藤を抱えるとき、デミアンという少年が現れ、シンクレールに独自の視点を与えます。

エフォートレス思考

かんき出版

グレッグ・マキューン

訳：高橋璃子

「エフォートレス」とは、努力が必要ない、楽なという意味です。この本では現代社会に生きる人々にもしも頑張ったり、努力してもうまくいかないことに直面した時のヒントを与えてくれる本です。新たな視点をつくり、ものごとを見る視野を広げることに役立ちます。

偽りの愛の向こう側

宝島社

上乃凜子

桜井遥菜は大手広告代理店に勤めていたが、あることがきっかけで恋人も仕事も失ってしまう。少しずつ人生をやり直すつもりだったが.....。「僕と結婚してくれないか？」期間は1年。新しく雇い主になった大手不動産会社の御曹司・綾瀬理人からの契約婚の提案で、すべてが変わってしまう。これは契約婚、偽りの愛...。大人気コミックの原作小説、待望の書籍化!

恋に焦がれたブルー

集英社文庫

宇山佳祐

靴職人を目指す歩澄は、高校生の時、同学年の青緒に恋をした。いつもボロボロのローファーを履き、ひとりぼっちの青緒に、歩澄は手作りの靴を送ろうと思いつく。恋する気持ちを靴に込めようとする歩澄のひたむきな想いに触れ、青緒も彼にひかれていく。しかし青緒は、彼を愛おしく思う気持ちが身体に痛みを与える不思議な病を発症してしまう。歩澄の愛情が青緒の身体を焦がすように傷つけ.....。

